

# プロジェクト通信No3

令和5年8月24日 発行

## 雇用促進 就労定着 project

8月22日より始まった就労系福祉サービス事業所訪問の報告です。

### 第2回目は「とち共同作業所」です。

とち共同作業所は当センターのイベントなどの活用時に、事前・事後の取り組みを行い、利用者さんの気持ちの変化やフェスの効果をお知らせいただいている事業所です。今回の訪問でも、皆さんが自己紹介や企業への質問を考えてくださり、意見交換の時間が足りないほど、活発な意見交換が行われました。



令和5年度 求職者支援メニュー

はじめの一歩を  
ふみだそう!

利用者さんの自己紹介の中では、「とち共同作業所を使うようになった経過」や「一般就労を勧められるが、体調に波があり休むことや受診することがある」など、質問だけではなく自分たちを理解してほしいという気持ちが伝わる内容でした。



パナソニックスイッチングテクノロジーズ  
松尾さん

柏寿協会  
安達さん

今回のプロジェクト担当企業

人間関係はどこで働いてもつきものですが、全員と仲良くできるわけではないしなれないわけでもない。でも、その中で理解し合える人やウマが合う人ができます。会社としても相談者をつけ、孤立しないようにしています。

一般就労をしていた時は診断を受けておらず、人間関係面で挫折を繰り返していました。

メモを見て確認しようとしていますが、仕事を覚えるのが遅くて焦ってしまいます。

自分の苦手なところ・悪いと思うところをわかって手立てを考えているのが素晴らしいと思う。出来ないことを相談してもらえれば、「1つ出来てから次のこと」「確認できるチェック表を用意する」など企業も教え方を工夫できます。

今回の見学では、利用者さんの挨拶や話を聞くときの態度、利用者さん同士の仕事上のコミュニケーションなど、事業所内の取り組みがとても感じが良いとの感想が聞かれました。日頃の活動で大切にしていることが感じられた訪問でした。

一般就労を目指しています。今から身につけておく事・求められるスキルは何ですか？

仕事に必要な技術的なスキルは入社した後に会社が教えます。求めたいことは、生活リズムを整え毎日出勤すること・挨拶・元気・積極性。元気に挨拶するとやる気があると周囲も感じます。

特別支援校を卒業してから作業所でしか仕事をしたことがないので一般企業で働くという事がよくわかりません。働いたときは近くで教えてくれる人はいますか？

仕事を教える人・悩み事を相談できる体制を作っています。事前に聞いている配慮などは働く部署にも伝え、みんな理解するように努力しています